令和6年度
河頭中校区小・中連携研修会

研究のまとめ

鹿児島市立河頭中学校

鹿児島市立犬迫小学校

鹿児島市立小山田小学校

鹿児島市立皆与志小学校

令和６年度　河頭中校区　小・中連携研修のまとめ　　（河頭中）学校

１　共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	①　家庭学習の習慣化を図る。 ②　授業時間の学習姿勢を整える。	①　生徒会学習部が作成のテスト(KOGA-R Test)を実施した。事前に範囲を伝え、家庭学習で対策することを促した。 ②　河頭学習スタンダードを掲示し、相手を見て話しをすることを意識させた。
生徒指導	①　あいさつと返事の習慣化を図る。 ②　忘れ物をしない。	①　校門で行っていた挨拶運動は，自家用車での登校の多い本校の登校実態にあわないため，廃止になった。４月の一事徹底事項に挨拶を位置づけるなどの取組みをやって意識付けを行っている。現在の校内では，互いの挨拶はできている生徒が多い。 ②　生活の記録（日記）の時間割記入欄を利用して，必要な学用品を記入させ，点検できるようにしている。翌日の日記点検のときにメモもチェックして，不十分な生徒に記入を促している。概ね，忘れ物を抑止する効果はみられるが，特定の生徒の忘れ物が目立っており，改善が難しい。
保健指導	①　早寝・早起き・朝ご飯の習慣化を図る。 ②　メディアコントロールにＰＴＡと取り組む。	本校では，「メディアチェックカード」「ルール＆マナー」「保護者アンケート」「給食指導係のおにぎり弁当」などで保健指導の共通実践事項に取り組んできた。特に年３回実施している学校保健委員会では，どうすれば改善できるかという視点で保護者同士が話し合えた。アンケートや話し合った結果を様々な場面で啓発することができた
生き方指導	①　キャリアパスポートの有効活用。 ②　体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実。	・各行事での事前学習，振返りの時間にキャリアパスポートを効果的に活用できた。 ・作業時間に学年を解いて，作業場所を担当することで縦の繋がりができ，効果的であった。 ・エイサー活動では，エイサーリーダーが中心となり活動内容や指導方法を模索していく中で，連帯感や協調性を身に付けることができた。 ・生徒会主催の「全校生徒で遊ぶ日」を設定し，昼休みを使って全校生徒が交流できる催しを企画・準備・実践した。

２　研修の反省

研修テーマ　：　**小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方**

校内研修テーマ

ひとりひとりが主人公となる教育活動の創造
～主体性を強化，発揮させるための学習環境・活動の場の設定の工夫を通して～

【各校で取り組んだこと】　校内研修及び小中連携に関すること

○　河頭スタンダードの継続（思考・判断・表現力を伸ばす）
○　ICT 機器の有効的な活用
○　全教科テーマにもとづく授業実践と実践報告

【８月２１日の研修全体会の振り返り】　　成果，課題，運営などについて

○　校区内の全学校が一堂に会して，情報を交換する良い機会であった。
○　時間的に厳しいと思うが，この会の後，各学校で，どのように実践し，どのような変容が見られたかを検証する場を設けられると，さらに充実した連携ができると思う。

【全体を通して　今年度の成果と課題】　　テーマに関する成果と課題，参加意識，運営面など

○　次年度は夏季休業中ではなく、学期中に河頭中学校の授業参観・授業研究を通した研修ができればよい。実際に生徒を見たり、学習内容を把握してもらい、生徒指導や学習指導の連携につなげたい。

令和６年度　河頭中校区　小・中連携研修のまとめ　　（犬迫小）学校

Ⅰ　共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	①　家庭学習の習慣化を図る。 ②　授業時間の学習姿勢を整える。	① タブレットによる課題を出したり，学級通信を通して保護者に協力を依頼したりすることで，子供も親も家庭学習に対する意識の向上が図られ，習慣化にも結び付いた。内容の充実という点においては，個人差も大きく今後の課題である。 ② 子供の体格に合わせた机・いすを使ったり，11 月の保健目標「しせいを正しくしよう」の具体策を児童保健委員会で話し合い，実践したりすることで授業時間の姿勢保持ができるようになってきた。
生徒指導	①　あいさつと返事の習慣化を図る。 ②　忘れ物をしない。	①６月の児童総会で，今年の児童会の目標を「言葉づかいに気をつけて過ごし，止目先あいさつの輪を広げよう」に決め，具体的な取り組み「ハッピーぬり絵」や「ゴーゴーハロー（あいさつ運動）」も行ったことで，先生や地域の方々へのあいさつはよくできるようになったが，子供同士のあいさつがあまりできていない。 ② 学習に必要な道具類は，週報等で事前に知らせるようにすることで保護者の協力も得られ，忘れ物もほとんどなく活動を進めることができた。
保健指導	①　早寝・早起き・朝ご飯の習慣化を図る。 ②　メディアコントロールにＰＴＡと取り組む。	①寒い時期になると起床時刻が遅くなり， 朝ごはんを食べる時間がなかったという子供もいたが，ほとんどの家庭では早寝・早起き・朝ご飯の習慣化が図られ，大きく体調を崩すこともなく元気に登校し，学習に取り組むことができた。 ②適切なメディアとの付き合い方（内容や時間等）について学校でも指導し，各家庭におけるルール作りを推進した。ごく少数ではあるが，ゲーム依存の状態に陥っている子供もおり，専門医を受診したり，スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施したりしながら改善を目指している。
生き方指導	①　キャリアパスポートの有効活用。 ②　体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実。	① 各学期初めと終わりに目標を決めたり振り返ったりする時間を設定し，キャリアパスポートに記入する活動を通して，子供同士がお互いのがんばりやよさを認め合う姿が見られ，自分自身の成長や課題に気付くことができた。 ② 縦割り班「にじいろグループ」のメンバーを新たに編成し，話し合いやあいさつ運動に取り組むことで，思いやりの気持ちをもって協力することの大切さに気付くことができた。

２　研修の反省

研修テーマ　：　**小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方**

校内研修テーマ

「手応えのある学び」を実現するための**学習活動の在り方**
～　**学習活動への「見通し」と「振り返り」活動の充実を通して**　～

【各校で取り組んだこと】　校内研修及び小中連携に関すること

・ ６月とＩＩ月に【授業力 UP 週間】を位置づけ，相互参観の機会を設定した。共通実践事項「音読を意図的に取り入れた授業」「自分の考えを発表する場の工夫」「学びの振り返りと定着の場の確保」の３つを意識して授業づくりに取り組んだ。全職員が授業を行い，成果と課題をもとに授業反省を行い，児童の主体的な活動を引き出すための見通しのもたせ方や，学習内容の定着を目指した振り返りの場の設定の仕方等を確認することができた。

【８月２１日の研修全体会の振り返り】　　成果，課題，運営などについて

・ 低・中・高・特支・養教・司書部会の６班に分かれ協議した内容が，後日分科会記録として配布され，自分の参加した部会以外で話題になったことも共有することができてよかった。
・どの学校においても同じような悩みや課題を抱えていることが分かり，小・中連携の重要性を改めて感じた。研修会の内容や実施時期を見直す必要があるのではないか。

【全体を通して　今年度の成果と課題】　　テーマに関する成果と課題，参加意識，運営面など

・ 共通実践事項について具体的な取り組みの確認をしたり，各学校の様子について情報交換をしたりするためには，１学期中（６月中旬から下旬頃）に開催することができないか。

令和６年度　河頭中校区　小・中連携研修のまとめ　　（　小山田小　）学校

１　共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	①　家庭学習の習慣化を図る。 ②　授業時間の学習姿勢を整える。	①　宿題をパターン化したり，子どもが宿題のメニューを考えたりするなど，発達段階に応じた方法で学習の習慣化を図った。また，PTA 等で保護者に見届けのお願いをし，連携を図った。 ②　子供が分かりやすい合言葉を活用したり，声掛けをしたりして，姿勢を保持できるようにしている。
生徒指導	①　あいさつと返事の習慣化を図る。 ②　忘れ物をしない。	①　あいさつの合言葉「あなたすき」の推奨や，帰りの会で子ども自身のあいさつを振り返る活動を取り入れることで，進んであいさつをする子が増えた。 ②　早めに週報で呼びかけ，準備する時間を十分にとることで忘れ物がないようにしているが，家庭の差が大きい。
保健指導	①　早寝・早起き・朝ご飯の習慣化を図る。 ②　メディアコントロールにＰＴＡと取り組む。	①　PTA や学級通信などで呼びかけることで朝食抜きが減ったが，家庭によって差がある。 ②「家庭でがんばりましょうカード」に取り組んでいるが，各学年で決めたメディア時間を守れない子が多い。
生き方指導	①　キャリアパスポートの有効活用。 ②　体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実。	①　キャリアパスポートを行事ごとに記入し，道徳等で活用した。子どもが自身の成長を感じるものとなった。 ②　総合的な学習の時間（太鼓踊りや米作り）を中心に，地域や異学年交流の機会を多く設けることができた。

２　研修の反省

研修テーマ　：　**小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方**

校内研修テーマ　関わりを通して考えを深める子供の育成

【各校で取り組んだこと】　校内研修及び小中連携に関すること

研修テーマをもとに，「主体的に関わろうとする子供」・「友達との関わりを通して自分の考えを見直したり再構築したりする子供」を目指す子供像と設定し，学習過程や学んだことの視覚化，聞き合うスキルと思考スキルの指導を研修の柱とし，各学級で実践を重ねた。そして，研究授業や各自の実践交流を通して，成果と課題を共有しながら，各々指導力を高めることができた。

【８月２１日の研修全体会の振り返り】　　成果，課題，運営などについて

各校の取り組みを詳しく聞くことができ，指導の参考になった。特に，中学校の現状を聞くことができ，進学指導や学習のしつけ等に役立った。

【全体を通して　今年度の成果と課題】　　テーマに関する成果と課題，参加意識，運営面など

中学校への学びや生活に繋げられるように，引き続き共通実践事項を共有，実践していきたい。

令和６年度　河頭中校区　小・中連携研修のまとめ　　（　皆与志小　）学校

Ⅰ　共通実践事項についての振り返り

領域	共通実践事項	振り返り
学習指導	①　家庭学習の習慣化を図る。 ②　授業時間の学習姿勢を整える。	①習慣化は図られたが，内容充実に課題が残った。また，タブレットの効果的な活用もさらに進めていきたい。 ②授業はじめと終わりはよかったが，途中が課題である。体幹の弱さも気がかりである。
生徒指導	①　あいさつと返事の習慣化を図る。 ②　忘れ物をしない。	①個人差が大きい。SST で取り組み改善を図るようにした。職員が率先して手本となるよう心掛けた。 ②家庭との連携に気を付けた。学級通信でのお知らせ，必要に応じて個別連絡をした。
保健指導	①　早寝・早起き・朝ご飯の習慣化を図る。 ②　メディアコントロールにＰＴＡと取り組む。	①メリハリ生活チャレンジカードの継続で習慣化ができつつある。 ②アウトメディアカードの継続で，家庭でのメディアコントロールを意識するようになった。
生き方指導	①　キャリアパスポートの有効活用。 ②　体験活動や異年齢活動を通しての「生き方」学習の充実。	①学期ごとのめあてや行事のめあて・振り返りを残すことで，今後の意識付けにつながった。 ②縦割り班で，様々な活動を継続したことで上級生が下級生の面倒を見ることができた。

２　研修の反省

研修テーマ　：　**小・中における思考力・判断力・表現力の育成を図る指導・支援の在り方**

校内研修テーマ　「運動好き」皆与志っ子を育てる体力向上の実践
～「皆与志モデル」の充実を通して～

【各校で取り組んだこと】　校内研修及び小中連携に関すること

・　本校の研究を通して，思考力・判断力・表現力の育成を図るために，ワークシートや板書の工夫とタブレットの活用を行った。子どもたちの活発な意見交換と運動技術の向上につながった。
・　中学校のテスト期間に合わせて，家庭教育充実週間の活動を継続した。高学年の児童にとっては，中学校生活を意識するよい機会となっている。

【８月２１日の研修全体会の振り返り】　　成果，課題，運営などについて

・　他校の現状や取り組みを理解し，情報交換できたことはとても有意義だった。
・　共通実践事項まで見直すことができるとよかった。
・　事前準備や打ち合わせを細かく行えると，充実した会になると思う。

【全体を通して　今年度の成果と課題】　　テーマに関する成果と課題，参加意識，運営面など

・　テーマや共通実践事項を大きく変えず継続したことで，家庭への意識化を図ることができ，子どもたちも多くのことが身についている。
・　中学校が求める入学時の生徒像の具体（身につけておいてほしいこと）があると，小学校の共通実践の充実になると思う。